

科目名	音楽表現 3				
授業形態	演習	学年	2		
開講時期	2021 年度 前期	単位数	1		
担当教員	河原田 潤				
内容および計画	保育現場で歌われている季節・行事・日常の歌の楽譜を読み、歌い、演奏する。その際に保育者として必要とされる弾き歌いの技能を学ぶだけでなく、その歌に込められた内容や時代背景、由来も学び、自らの知識を磨くと共に保育現場で活用できるようにし、また子どもの小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながるようにする。またコード奏法の基本を学び、お互いに伴奏し合い、弾き歌いをすることで、レパートリーを増やしたり歌うことの楽しさや喜びを味わい、保育現場で子どもと関わるためのコミュニケーション力の向上をねらう。さらに保育現場で使用する楽器の取り扱い方や奏法を再確認し、合奏することで互いにコミュニケーションを図る。				
1	幼児の生活と音楽				
2	日常の歌①（ごあいさつの歌等）				
3	季節・行事の歌①（こいのぼり）				
4	日常の歌②（遊びの歌、わらべ歌等）				
5	季節・行事の歌②（遠足の歌について）				
6	季節・行事の歌③（春の風景の歌）				
7	季節・行事の歌？（運動会の歌について）				
8	指揮法				
9	ボディパーカッションによる表現				
10	保育現場で使用する小型楽器の取り扱い方と奏法				
11	保育現場で使用する大型楽器の取り扱い方と奏法				
12	鍵盤ハーモニカの取り扱い方と奏法				
13	小編成による合奏				
14	大編成による合奏				
15	まとめ				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『こどものうた 100』		チャイルド本社	978-4805481868	
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現 I・II で使用した教科書と同じものを使うので、持っていない学生のみ購入すること。 ・資料を配布することが多いので、ファイルを準備すること。 					
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・配布レジュメ ・『幼稚園教育要領<平成 20 年告示>』文部科学省 ・『保育所保育指針<平成 20 年告示>』厚生労働省 ・『幼稚園教育要領解説』文部科学省 ・『保育所保育指針解説書』厚生労働省 ・その他適宜紹介する 				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	講義中の課題実施とその内容				60

成果発表	40
学習到達目標	1. 楽譜を読み、歌い、演奏するために必要な知識や技能を学ぶ。 2. 季節の歌を通して、保育現場の季節的行事への理解を深める。 3. 保育現場で活用できるように、音楽表現の楽しさや喜びを体験しながら習得する。
先修条件	
実務経験	実務経験あり : 職業音楽家としての演奏活動、教育活動等
その他	